

千葉大学看護学部入学者受入れの方針

1 千葉大学看護学部の求める入学者

千葉大学看護学部は、多様な人々との連携・協働の中で、看護実践の根拠や看護専門職者としての役割を明確に示しながら社会の要請に積極的に応え、人類の健康・福祉に主体的に貢献できるナース・サイエンティストの育成を目指しています。

看護学部は次のような資質を有する学生の入学を求めています。

1. 確かな学力

看護学とその関連知識・技術の修学に必要な基礎学力を持つ人

2. 豊かな感性・主体性

現代社会を生きていく人間として欠くことのできない国際的、倫理的、知的な素養を備え、様々な人々と協力し、主体的に行動できる人

3. 高い志

幅広い問題意識を持ち、人々の健康を支えるという側面から、看護の実践や研究に取り組みたいという意欲を持つ人

2 入学者選抜の基本方針

看護学部では、受験生の持つ資質や適性に応じて、複数の受験機会を提供し、多様な入学者選抜を実施します。なお、一般選抜の後期日程は実施しません。

1. 一般選抜

(1) 前期日程

選抜の方法： 大学入学共通テスト〔国語、地理歴史・公民から1科目、数学（数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B・数学C）、理科（化学、生物、物理から2科目）、外国語、情報〕の成績、個別学力検査〔理科は化学基礎・化学、生物基礎・生物、物理基礎・物理から2科目、外国語は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ、面接〕の成績を総合して評価します。

選抜の趣旨： 看護学の修得に必要な学力、将来看護の実践・研究・教育の場で活躍するために必要な資質と適性を評価します。大学入学共通テストでは、学力を幅広く評価します。個別学力検査では、自然科学と語学の学力を評価します。面接では、看護学への関心、学習意欲、自分の考えや意見を的確に述べることができる表現力、柔軟な思考力、コミュニケーション能力などを評価します。

2. 特別選抜

(1) 学校推薦型選抜

選抜の方法： 高校での学業成績が優秀で、学校長から推薦のあったものに対して、調査書、推薦書、小論文、面接により総合的に評価します。また、学力を幅広く評価するため、大学入学共通テストの成績を利用します。

選抜の趣旨： 千葉大学看護学部で学びたいという意欲、将来看護の実践・研究・教育の場で活躍するために必要な資質や適性を評価します。小論文では、課題の内容とその出題意図を読み取る読解力、論理的思考力、創造力、表現力、論文を構成す

る力などを総合的に評価します。面接では、本学で看護学を学ぶ目的、看護学への志向性、自分の考えや意見を的確に述べることができる表現力、柔軟な思考力、コミュニケーション能力などを評価します。

(2) 社会人選抜

選抜の方法： 社会人としての職業経験を4年以上有するものに対して、大学入学共通テストを免除し、小論文、英語*、面接及び出願調書の内容により総合的に評価します。

選抜の趣旨： 看護学への学習意欲、将来看護専門職者として、人類の健康・福祉に貢献したいという意味、看護の実践者・研究者・教育者の基盤となる資質、適性を評価します。出願調書では、経歴についての自己評価、志望動機、千葉大学で学びたいこと・活動したいこと、看護専門職者としての将来像の内容から評価します。小論文では、課題の内容とその出題意図を読みとる読解力、論理的思考力、創造力、表現力などを評価します。面接では、質問の意図を理解し応答する力、コミュニケーション能力、看護学の修得に向けた自己の資質を自己評価できる能力、入学の目的と入学後の学習計画や進路設計が明確であるか、卒業後に看護学への貢献が期待できるかなどを評価します。

*英語については、外国語検定試験の成績を利用します。利用する外国語検定試験は、TOEIC L&R+S&W, TOEFL-iBT, GTEC-CBT（4技能のオフィシャルスコアに限る）、IELTS、実用英語技能検定のスコアのうち、提出された1つを用います。

(3) 私費外国人留学生選抜

選抜の方法： 日本留学試験の成績、面接、成績証明書の内容を総合して評価します。

選抜の趣旨： 看護学の修得に必要な学力、日本で看護学を学ぶ目的が明確であることを評価します。看護学を学ぶための基礎的学力は、日本留学試験及びこれまでの成績証明書により自然科学と語学を中心に評価します。面接では、コミュニケーション能力（日本語で的確に表現できる能力、論理的思考力を含む）、看護学への関心、日本で看護学を学ぶことの目的が明確であるかなどを評価します。

3 入学までに身に付けて欲しいこと

- ・看護学は人々の命と健康を支える学問です。世界で起こっている様々な出来事と健康との関連を考え、人間に対して常日頃から関心を持ち、様々な考え方に触れてきてください。
- ・看護専門職者として生涯にわたり学習を継続することが大切です。疑問を持ったことに対して、自ら調べ、それを解決する習慣を身に付けてきてください。
- ・生命現象を理解するために必要となる自然科学（化学、生物、物理）の基礎知識を備えてきてください。
- ・看護は多様な人々と連携・協働する活動です。他者とのコミュニケーション能力と語学力〔国語、外国語〕を高めてきてください。